



## 編集後記

●……「景気回復が戦後3位の長期に及ぶ」または朗報なのですが、その後が「賃金や消費は伸び悩み」と来るから、まあいただけませんか。

2017年度の年次経済財政報告（経済財政白書）は7月21日発表は、人手不足が1980～90年代のバブル期並みに深刻化していると指摘、労働者の生産性が米国の6割と低水準に留まる点と共に、日本経済が抱える課題に挙げております。同時に残業を抑えて多様な勤務形態を認める「働き方改革」を進め、生産効率を高める必要性を強調。

ドイツを始め、1人当たりの労働時間が短い国ほど生産性が高く、労働時間が10%短くなると生産性が25%高まるとの分析も紹介。

●……お隣中国は、アジア開発銀行（ADB。本部・マニラ）が去る7月20日の発表で、国内総生産（GD

P）成長率を6・7%、2018年は6・4%と予測しております。

中国は2017年4～6月期のGDPが前年同期比で6・9%増、政府の掲げる2017年の成長率目標「6・5%前後」を上回っています。

日本を訪れる中国人はとも豊かに見え、韓国人共々よき隣人達ですね。

●……聖路加国際病院の名誉院長・日野原重明さんが、去る7月18日、呼吸不全のため死去されました。105歳。100歳の時に、NHKが

特報番組でお元気な姿を紹介、見た人達はただただ驚き。今年3月頃、口からの食物摂取が難しくなって入院した際、「経管栄養や胃瘻（いろう）をしますか」と問われると、「それはやらない」とお答えになったそうです。たまたま「反戦平和」を訴える女性報道写真家・笹本恒子さんがお元気で活動されている新聞記事を目にして「102歳なら、まだまだ現役でやれるぞ」と声援を送っていたそう。105歳と102歳、日本人の長寿人口もこれから増える一方かもしれない。

●……「能力誇示」も不愉快千万なのは北朝鮮のミサイル能力。韓国軍合同参謀本部によると、去る7月8

日午前6時18分から数分間、北朝鮮東部の元山から北東の日本海に向けて、地对艦ミサイルと見られる数発のミサイルを発射したそうです。北朝鮮のミサイル発射は何と4週連続ということに。韓国軍は「北朝鮮はさまざまな種類のミサイル能力を誇示している」と警戒を強めています。

北朝鮮は5月14日以降、有事の際に朝鮮半島沖に展開する米軍艦船などを攻撃する対艦ミサイルを始め、 Guam や日本の米軍基地を狙う新型弾道ミサイル、防衛用の対空迎撃ミサイルなど計5種類のミサイルを発射していることを誇示するため、発射を繰り返していると見られます。我が国は、今後どう対応して行くのか。日本海沿いの新潟や富山、島根、鳥取などミサイルの恐怖に晒され話になりませんか。

●……ミサイルの恐怖より、新潟など東北は福岡と並んで豪雨に見舞われ大変ようです。四季折々の自然災害は人為的に避けられません。川の水が溢れ、田畑が水浸し。九州北部の豪雨では罹災証明書の申請が計1900件に上っています。発生から2週間、800人が避難されて……。

月刊公論 MONTHLY  
**KORON**

9月号 第50巻 9号

平成29年9月1日発行 毎月20日発売  
本体価格848円(税別) 送料86円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 和泉貴志  
発行所 株式会社社界通信社  
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル  
TEL.03-5379-5611(代)、FAX.03-5379-5616  
印刷所 株式会社廣済堂  
取次店 日本出版販売/大阪屋栗田

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。  
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。